

令和4年度 密集住宅市街地整備推進プロジェクトチーム会議 議事要旨

日 時：令和4年7月25日(月)13時30分～14時00分

開催方法：WEB開催（大阪市役所5階 大応接室または各区役所執務室等）

参加場所：【大阪市役所5階 大応接室】

高橋副市長、都市整備局長、都市整備局理事

【各区役所執務室等】

福島区長、天王寺区長、東成区長、生野区長、城東区長、阿倍野区長、東住吉区長、西成区長、政策企画室理事、危機管理監、計画調整局長、建設局長（代理出席）、消防局長（代理出席）

■開会・挨拶

・事務局（都市整備局事業推進担当部長）：

ただいまから令和4年度密集住宅市街地整備推進プロジェクトチーム会議を始める。この会議は庁内会議のオープン化の対象となるので報道機関に公開とさせていただきます。

また本日は、WEB会議による開催のため、音声の乱れ等が生じないように、発言いただく場合を除き、マイクはオフにし、カメラは常時オンの状態をお願いします。

それでは開会にあたり高橋副市長からご挨拶をお願いします。

・副市長：

このプロジェクトチームは、喫緊の課題でもある密集市街地の防災性向上に向けた取組を進めるため、関係区長、所属長をメンバーとして立ち上げたものであり、平成26年4月に「大阪市密集住宅市街地重点整備プログラム」を策定している。令和2年度には、令和3年度から令和12年度までを取組期間とする、新たな「密集住宅市街地整備プログラム」を策定したところである。

本日は、この新たな整備プログラムに基づく1年目の年となる令和3年度の取組実績を共有し、さらなる密集市街地整備の推進に向け、ご議論いただきたいと考えている。ご出席いただいているメンバーには、忌憚のない意見をよろしくお願ひしたい。

■議題1. 大阪市密集住宅市街地整備プログラムに基づく令和3年度の取組実績について

・事務局（都市整備局住環境整備課長）：

資料1	大阪市密集住宅市街地整備プログラムに基づく令和3年度の取組実績について
資料2	「地域防災力向上のススメ - 密集市街地の防災活動アイデア集 -」 説明

・都市整備局長：

ただいまの説明について、質問や意見等あればお願ひしたい。

・城東区長：

資料1で説明された中で、少し補足をさせていただきたい。

資料の6ページに城東区補助制度説明会ということで、写真を添付していただいている。区民の皆さんに、除却の補助制度がまだまだ知られていないと考えており、ホームページやSNS等で情報発信を行っているが周知が足りないのではと思っているところである。そこでリアル開催ということで、このような形で20名ほどの皆さんにお越しいただいて説明会を開催させていただいた。かなり活発な意見交換などもあり、開催できて良かったと思っている。また、重点対策地区にお住まいの方に絞り込むことで、問題意識をお持ちいただけただけではないかと思っている。この説明会は11月に開催しているが、その効果もあり、今年度に入って申請件数が増えており、手応えを感じているところである。

今年度も、こうしたリアル開催をさせていただき、より制度の周知を深めて参りたい。

・生野区長：

生野区では、生野南部事務所に生野区全体の老朽住宅の除却等の相談窓口を設置していただいたり、防災の取組を通じて、老朽住宅の所有者の方に老朽住宅を放置してはいけないという意識を持っていただく啓発に努めてきているところである。

大正区長・港区長の時に、老朽住宅への対策として、空家のリノベーションをいくつか手がけてきたが、やはり空家のリノベーションに行き着く住宅というのはごく一部であり、除却促進のこの補助制度が非常に重要だと考えている。

令和3年度から、補助率や限度額の拡充をさせていただいており、是非この制度の継続・拡充をお願いしたい。

・都市整備局長：

補助制度の実績については、この間に広報等でPRしていることもあり、かなり伸びている。予算が足りなくなるのではないかとというくらい申請が来ている状況であり、引き続きご協力をお願いする。

他にご意見があればお願いしたい。

(意見なし)

それでは、令和4年度以降も区と局が連携して、市街地の不燃化や都市計画道路の整備の推進、地域防災力の向上に向けた取組を着実に進めていきたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。なお、今年度PTで作成した「地域防災力向上のススメ」については、ホームページにデータを掲載しているので、必要に応じて周知していただきたい。

■議題2. その他

・都市整備局長：

それでは議題2その他について、私どもからは特にないが、出席の皆様からご意見・報告事項があればお願いしたい。

・副市長：

今回この「地域防災力向上のススメ」という冊子を作っていただいて、分かりやすくまとまっていると思う。この冊子は今年3月に発行されているが、改訂に向けてどういう頻度で情報を更新していくのか、次回の会議で扱うのか、今後の予定があれば教えてほしい。

良いものを作っているというので、絶えず新しい情報を提供できればと思う。

・事務局（都市整備局住環境整備課長）：

具体的に何年ごとに改訂するといった決まりを作っているわけではないが、地域の皆様方、防災活動を今後増やしていかれると思われるので、各区の新たな取組などあれば事務局に教えていただきたい。

また、補助制度なども少しずつ見直しする必要があるため、必要に応じて少しずつアップグレードしながら、皆様と共有させていただければと考えている。

・城東区長：

「地域防災力向上のススメ」の28ページで当区の事例を取り上げていただいている。

取り立てて新しい活動ではないが、「防災さんぽ」という取組を昨年度実施し、地域を歩いてさまざまな危険箇所や防災上気になる所を地図に落とし込んでいく作業を通して、まちを再確認するという取組をさせていただいた。これにより、一人だけではなかなか気付かないことも、多くの参加者があれば、普段見過ごしがちな自分たちのまちの中の状況というものを、「あれはどうなの」とか「自動販売機がちょっと道にはみ出している」「あの家ひさしが危ないのと違うの」というような目線で危険箇所に気付くことができ、それらを地域で共有する良い機会となった。

このような取組を当区以外の地域でもやっていただけるように広げていきたいと考えている。

・都市整備局長：

ただいまご紹介いただいたような事例がたくさん載っているので、他の区でも参考にさせていただけたらと思う。

他にご意見があればお願いしたい。

（意見なし）

それでは、最後にこれまでの議論を踏まえ、高橋副市長からご意見をお願いしたい。

■閉会・総括

・副市長：

令和3年度は、市街地の不燃化に向けた除却制度の強化や効果的な広報が図られ、その成果も見えてきたと感じている。また、地域防災力向上に向けたソフトの取組についても、先ほど事務局から説明のあった「地域防災力向上のススメ」など、こういった取組事例を活用しながら横展開を行い、地区防災計画の改定支援や、あるいは地域と連携した啓発に、引き続き取り組んでいただきたい。

いずれにせよ、密集市街地の防災性の向上、これは本当に待ったなしで進めるべきものと考えており、令和12年度までのこの10年間で、目標が達成できるよう、区と局が連携して、ハード・ソフトの両面の取組を積極的に進めていただくよう、よろしくをお願いしたい。

・都市整備局長：

この密集PTについては、今後も毎年度プロジェクトチーム会議を開催し、施策の進捗状況などについて情報共有を図って参りたいと考えている。引き続きご協力をお願いしたい。

それでは議事を終了させていただく。

・事務局（都市整備局事業推進担当部長）：

本日はオープン会議となっており、本日の会議資料と議事録は後日ホームページに掲載させていただく。今後とも適宜、情報共有や課長級のワーキング等を開催するので、引き続きよろしくお願ひしたい。

以上をもって、令和4年度密集住宅市街地整備推進プロジェクトチーム会議を終了させていただく。